

総括判断

景気は、厳しい状況をなお脱していないが、緩やかな改善が続いている。各種の政策効果やアジア経済の回復などの影響に加え、企業部門を中心に、自律的回復に向けた動きが徐々に強まってきている。

厳しい状況をなお脱していないが、緩やかな改善が続いている。

雇用情勢
(p 13)

個人消費
(p 4)

各種の政策効果やアジア経済の回復などの影響に加え、企業部門を中心に、自律的回復に向けた動きが徐々に強まってきている。

金融政策
公共投資
住宅減税
信用保証 等

輸出 (p 10)
生産
等

生産 (p 12)
設備投資 (p 7)
企業収益 (p 14、
p 15) 等

個人消費 (収入の
下げ止まり) (p 4)

政策態度

公需により下支えされてきた我が国経済は、自律的回復に向けた動きが徐々に強まっているが、政府は、これを本格的な回復軌道に着実につなげていくとともに、21世紀の新たな発展基盤を築くため、大胆に日本経済の新生と構造改革に取り組む。

大胆な日本経済の新生と構造改革への取り組み

我が国経済を本格的な回復軌道に着実につなげていく

21世紀の新たな
発展基盤